

国民党による中国統一がせまるにつれ、中国人による排日運動もはげしくなり、列車妨害や日本人学生への迫害などが頻発した。さらに日本にとって、北にはソ連の脅威があり、南からは国民党の力もおよんできた。

閻錫山が、満州の軍閥・張作霖を編入するなど満州への支配を強めようとすると、中国人による排日運動もはげしくなり、列車妨害や日本人への迫害などが頻発した。さらに日本にとって、北にはソ連の脅威があり、南からは国民党の力もおよんできた。こうした中、閻錫山の一部将校は満州を軍事占領して問題を解決する計画を練りはじめた。

上図 満鉄沿線で発生した事件の件数

排日運動の原因とその後の経緯について、理解し難い表現である。

図・キャプションとも削除

90番の間違修正(スペースの調整のため)

p.197地図 満州事変と満州国の建国



リットン調査団



国際連盟総会 立っているのが松岡洋右外相。採決の内容に抗議して、このあと、総会から退場する。



五・一五事件を報じる新聞

p.196 右上に移動



五・一五事件を報じる新聞



リットン調査団

国際連盟総会 立っているのが松岡洋右外相。採決の内容に抗議して、このあと、総会から退場する。